

タイトル：ファニーたい焼きトム
ハンバーグ

オープニング

シーン

（静かな日本の商店街。カメラが一軒のたい焼き屋をズームインする。店の看板には大きな英語と日本語で「たい焼きトム」と書かれている。明るい音楽が流れ、店の中が映る。）

トム：（元気いっぱい）「おはよう、日本！今日も元気にファニーなたい焼きを作るぞ！やっぱり楽しくないと、美味しいたい焼きはできないからな！」

魚住：（店内掃除をしながら苦笑い）「トムさん、今日の新作の中身、本当にハン

バーグで大丈夫なんですか？お客さん、
びっくりするんじゃない？」

トム：（加速して）「ハンバーグたい焼き！これぞ新時代の革命だよ！魚住、考
えてみてくれ。たい焼きって甘いものだ
けじゃないんだ。主食になるたい焼き：
これが未来の味なんだ！」

魚住：（半分呆れながら）「未来の味っ
て……。それにしてもハンバーグをたい焼
きに入れるなんて、かなりチャレンジで
すよ。」

シーン

（厨房。トムがハンバーグを鉄板で焼き
始める。ジュウジュウと美味しそうな音
が聞こえる。）

トム：（独り言）「うん、この香り……。こ
れだよ！この肉汁の香ばしさ……。食欲をそ

そる：いや、爆発させる！これを生地で包んで焼けば：オーマイゴッド、最高のたい焼きが完成するはず！」

（トムが香草と特製スパイスを振りかけ、フライパンの中が湯汁で溢れる。カメラが肉汁が漂うハンバーグをアップで撮らえる。）

魚住：（ハンバーグを見つめながら心配そうに）「でも、たい焼きってもっと軽い食べ物じゃ……。これ、お腹にズシツときそうですね。」

トム：（笑顔で）「それがいいんだ！アメリカのバーガー文化と日本のたい焼き文化を融合させる。これぞトムスタイル！」

（トムが金色のたい焼き型に分厚いハンバーグをセットし、チーズをたっぷり乗せる。生地を流し込み、型を閉じて焼き

始める。音楽が盛り上がり、たい焼きが背高を増していく様子がスローモーションで描かれる。）

中盛：お客のリアクション

シーン

（店の外には小さな行列ができています。最初のお客が店内に入る。）

お客ー（サラリーマン）：（メニューを見ながら）「ハンバーグ：たい焼き？これ、本当に美味しいんですか？」

トム：（自信満々）「もちろん！騙されたと思って、一つ試してみてください！」

（お客ーが少し不安そうに一つ注文する。袋から取り出し、一口食べる。）

お客ー：（目を見開いて）「お：美味しい！外はカリカリ、中はジューシーなハンバーグ：これは新しい！」

（別のお客が続々と注文し始める。トムが課し場で次々とハンバーグたい焼きを焼き上げる。バターの香りが店全体を包む。）

お宥ん（女学生）：「インスタ映えするかな？このチーズの伸び具合：！映える：！」

お宥ん（年配の女性）：「ハンバーグがたい焼きに入るなんて：。昨日じゃ考えられないけど、これは美味しいわ！」

お宥ん（外国人観光客）：（英語で）「I heard this place makes crazy taiyaki! The cheese, the beef... it's amazing!」

クライマックス：思わぬトラブルと奇抜な展開

シーン４

（売り上げが急増し、トムと魚住が忙しく対応している最中。）

魚住：（慌てて）「トムさん、ハンバーグの仕込みが追いつきません！注文が多すぎて！」

トム：（笑顔で）「嬉しい悲鳴ってやつだね！魚住、オーブンをもう一台使おう！」

魚住：「でも、次のお客さんは…あ、見てください！」

（店の外を見ると、地元テレビ局のカメラが取材に来ている。）

リポーター：「こちらが今話題のハンバーグたい焼きを作る店です。お客さんの反応も見てみましょう！」

（インタビュ―を受けるお客たちのコメントが続く。）

（そのとき、大量注文を受けてトムが特注で作った巨大たい焼き型が登場。厨房のスペースを占領するほどの大きさ。）

魚住：（驚愕）「トムさん、これ何ですか！？これ、たい焼きじゃなくて…何かのモンスターです！」

トム：（自信満々に）「これは…ジャンボハンバーグたい焼き…だ！家族みんなでシェアして楽しめるように作ったんだ！」

（型を焼き始めると、キッチンが蒸気と香ばしい香りで充満する。調理中に巨大たい焼き型が爆発しそうになり、二人が大慌てで対応する。）

魚住：「これ、本当にお客さんに出せるんですか！？」

トム：「大丈夫だ、ファニー精神を忘れるな！」

（なんとか焼き上がり、大勢の客が見守る中、巨大たい焼きを披露する。歓声が上がリ、シェア用の切り分けショーが始まる。）

お客たち：「すごい！これはアートだ！」
「インスタに載せよう！」

エンディング：SNSでの成功と新たな挑

戦

シーン5

（店の片付けを終えたトムと魚住が一息ついている。）

魚住：「今日も何とか乗り切りましたね。

SNSでも「ハンバーグたい焼き」がバズっ

てて、売り上げも上々です。でも、材料費も時間もかなりかかりましたね…。」

トム：（笑顔で）「それがビジネスってもんさ！でも、次はもっと効率よく、もっとファニーにする方法を考えるよ。」

魚住：「まさか、また何か変なアイデアが…？」

トム：（自信満々に）「次は豆腐ハンバーグたい焼きだ！ヘルシーで新しい時代の到来さ！」

魚住：（即座に一喝）「トムさん！少しは落ち着いて考えてください！」

（トムが笑いながら肩をすくめ、魚住がため息をつくシーンで締めくくられる。）

次回予告

ナレーション：「次回、トムのたい焼きがさらに進化！？新メニュー『カレーたい焼き』が登場！スパイシーな香りと爆笑の展開が待っている！ファニーたい焼きトム♡…お楽しみに！」

想定尺割

オープニング

•

シーン1： トムと魚住の会話（店内）

1分

•

○ 商店街の雰囲気を見せる導入と

キャラクター紹介。

•

シーン② ハンバーグたい焼きの仕
込みシーン・⑤分

-
- ハンバーグを焼く調理描写とト
ムのこだわり、魚住のツツコミ。

中盛（お客のリアクション）

- シーン③ 客のリアクション描写・

12分

- 様々な客が新作たい焼きを試す
場面。SNS映えや外国人観光客のリア
クションを含む。

クライマックス

- シーン④ トラブルと奇抜な展開・

15分

- 売り上げ急増による忙しさ、テレビ取材、巨大たい焼き型の登場と騒動。

エンディング

- シーン5： トムと魚住のやり取り、

1分

- 営業終了後、成功を振り返りつつ次の挑戦への意気込み。

次回予告

- ナレーション： 1分
- 次作への期待を煽る内容。